

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年08月14日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部経済学科
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2024年08月30日
明治大学卒業予定年月	2025年03月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校 (日本語名) University of California, Berkeley (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2024年05月～2024年08月
留学先大学で在籍した学年	4年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: ~ 2 学期: 5 月中旬～8 月中旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	45,057
創立年	1868

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (USD)	日本円	備考
授業料	6847.14	992,835 円	
宿舍費	6460	936,700 円	3ヶ月食費込み
食費	200	29,000 円	外食
図書費	0	0 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	0	0 円	
現地交通費	100	14,500 円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	500	72,500 円	
被服費	0	0 円	
医療費	0	0 円	
保険費	275	39,955 円	形態: 大学提供
渡航旅費	620	89,990 円	
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	15,002.14	2,175,480 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 成田 目的地: サンフランシスコ 経由地: 復路 出発地: サンフランシスコ 目的地: シカゴ 経由地:
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金: ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: Zipair 料金: 62,730 復路 航空会社: American Airline 料金: 27,260 ∴ 合計: 89,990
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: International House) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
過去にプログラムに参加した方の留学報告書を参照
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
特別なこだわりがないのであれば International House が良いと思います。世界各国の友達ができます。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

寮の友人に聞いた。夜は知らない場所に単独で行かないようにした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮、キャンパスともにWifiで困ることはなかった。大学周辺は常にWifiがあるため滞在中SIMを買わずに留学を終えている人もいた。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本のクレジットカードでほとんどの支払いをした。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

特になし

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前にクレジットカードで支払った。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Foundations of Data Science	データサイエンス基礎
科目設置学部・研究科	Statistics
履修期間	Session C
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とラボ(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 60 分が 5 回
担当教授	Jeremy Sanchez
授業内容	Python を使ったデータサイエンスの基礎。配列やテーブルの操作などのコーディングと回帰分析や帰無仮説・対立仮説などの統計概念を総合的に理解できる。
試験・課題等	試験は Midterm と Final。課題はホームワークが週 2 個とラボでのワークシートが週 2 個、プロジェクトが全体を通して2個ある。
感想を自由記入	月-木 1 時間、金2時間の授業、月と水は授業とは別に 2 時間のラボがあり、重めのクラス。ただ内容は非常に充実しており、授業の評判も良い。コーディング経験がない人は苦しむかもしれないが予習復習をしっかりと行えば未経験でも習得できる講義だと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to International Business	国際ビジネス入門
科目設置学部・研究科	HaaS
履修期間	Session D
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Daniel Himelstein
授業内容	貿易、為替、法律、会計など国際ビジネス全般について
試験・課題等	2回の課題と2回のレポート。試験はなし。
感想を自由記入	課題などの重さでいうとかなり楽な授業だと思う。他に重い授業をとっている方はおすすめ。先生の話が中心の授業。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Project Management	プロジェクトマネジメント
科目設置学部・研究科	HaaS
履修期間	Session A
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Omar Romero-Hernandez, Sergio Romero Hernandez
授業内容	WBS、Project Charter などプロジェクトマネジメント手法を学ぶ。チームを組んで自分たちで設定したプロジェクトのマネジメントを行いその内容をプレゼンするアクティビティもある。
試験・課題等	Final 試験があるが簡易的なもので重くない。プレゼンの時期にはチームで授業時間外に準備やプレゼンの練習などを行なった。
感想を自由記入	非常に実践的で教授も面白く、双方向のコミュニケーションが活発にある。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
American Language and Culture: The Media	アメリカ言語と文化:メディア
科目設置学部・研究科	
履修期間	Session F
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Jeffrey Ellenbird
授業内容	サンフランシスコの街の文化や歴史とその変化、メディアの役割について学ぶ。
試験・課題等	授業への参加と毎回の授業でのプレゼンテーションで評価される。課題はプレゼンテーションの準備。
感想を自由記入	留学生向けの授業であり、英語力を改善したい生徒が受講する。人によっては物足りなさを感じるかもしれない。教授は非常に気さくな方で楽しく授業を受けることができた。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

海外大学院(米国、英国、シンガポール)

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

バークレーサマーセッションは実際に留学する前の良い訓練になると思います。International House には大学院の学生や日本人で研究や大学院で来ている方もおり、様々な話を聞くことができます。滞在中は授業や友人とのアクティビティが忙しくなかなか準備が進みません。TOEFL/IELTS, GRE/GMAT などのスコアメイクが必要な方は渡航前に進めることをお勧めします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	IELTS スコア取得
	10月～12月	プログラム申し込み
留学開始年	1月～3月	寮の申し込み、VISA の申請等
	4月～7月	渡航
	8月～9月	帰国
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

UC Berkeley のサマーセッションを選んだ理由は、3 ヶ月間の滞在を通じて、海外大学院進学前に現地での生活や英語での講義についての判断材料を得たいと考えたからです。結果として、UC Berkeley の学生と同様の授業を受講し、同じ寮に滞在することができました。特に、International House(I House)は留学生生活を充実させる上で欠かせないコミュニティであり、バークレーに留学する場合には I House を選ぶことで、異文化交流の機会を最大限に活用できると思います。

I House では、アメリカ、シンガポール、フランス、インド、スペイン、カナダ、パキスタン、ドイツ、中国、イタリアなど、様々な国からの留学生と出会い、外出や雑談、ディスカッションを通じて多くの時間を共有しました。それぞれの学生が異なる理由で留学しており、勉強に集中する人もいれば、毎週末に旅行を楽しむ人もいるため、自分のペースで留学を楽しむことができます。

次に滞在環境についてです。カリフォルニアは暑いイメージがあるかもしれませんが、バークレーやサンフランシスコ地域はやや涼しく、特に5月の到着時にはパーカーが必要でした。昼夜の寒暖差が激しいので、数枚の長袖やパーカーを持参することをお勧めします。また、治安に関しては、日本と比べるともちろん厳しい面もありますが、エリアによって異なるため、夜であっても友達と夜食を買いに行ったり、散歩を楽しんだりすることは可能です。もし心配であれば、防犯用の催涙スプレーを持参すると安心かもしれませんが、私の3ヶ月の滞在中にトラブルに巻き込まれた話は一度も聞きませんでした。

交通手段としては、BART(電車)、バス、配車アプリが主流となります。UC Berkeley の学生はバークレー周辺のバスが無料になるので、Google Map を活用し、バスを利用することで交通費を抑えることができます。サンフランシスコへもバスで簡単にアクセスできます。

最後に、英語力が高いほど、友人との濃い会話ができたり、授業についていきやすくなるため、留学の充実度に大きく影響します。渡航前にスピーキングとリスニングのスキルをできる限り高めておくことをお勧めします。